

解 答 速 報

聖マリアンナ医科大学 一般選抜後期



1

[1]	植物同士がいかに連携しあっており、根や電気信号、そして地下の菌類や土壌中の微生物のネットワークを通じて、いかに効果的に仲間の植物にメッセージを伝えることができるかに関する最近の発見。
[2]	(d)
[3]	a) 化学薬品の使用による土壌への害、森林伐採、あるいは気候変動（によって、地下の菌類のネットワーク内での水や栄養分の循環に影響が及ぶこと）。 b) 防衛反応や遺伝子調節などの応答行動に悪影響が及び、植物自体が害を受けやすくなり、世界中の生態系の保全や回復がより困難になること。(64字)
[4]	[う]
[5]	(a)-(e)-(c)-(d)-(b)

2

1	2	3	4			5	6
(a)	(d)	(a)	(1) (a)	(2) (d)	(3) (b)	(b)	(b)・(e)

3

1						2	
(1) (d)	(2) (a)	(3) (d)	(4) (c)	(5) (a)	(6) (b)	(A) (b)	(B) (c)

【講評】

- 1 : 「地下の菌類のネットワークが可能にする植物同士のコミュニケーション」について論じた英文だった。記述量は例年よりやや減った。[1]の This discovery を説明する問題は、直前のパラグラフの Recently, scientists **discovered** ～が該当箇所、この部分をまとめればよい。[3]は本大学のおなじみの問題で、現象の a)原因・ b)結果を問うものであった。a)は同パラグラフの第1文が該当箇所。b)は次のパラグラフの第1文で述べられる第5文型の展開から読み取る因果関係が該当箇所であったが、ここだけでは50～65字という字数制限に満たないため、下線部(C)の直後の論理も少し盛り込んで答案作成する必要があった。[5]の英文セクションの並べ替えは初出の問題であったが、先に何を問われるかを把握するために問題に目を通し、あらかじめこの問題を意識しておいて長文読解すれば、難なく順序を決められたはずである。
- 2 : 「北アラビアの砂漠地で見つかったロック・アート（岩壁画）」について論じた英文であった。今回の大問2は、内容一致と空所補充での構成であった。（大問2でよく脱文挿入や文整序の出題があったが、今年は大問1での脱文挿入の出題となっていた。）英文も読みやすく、問いの内容も標準的だった（本文該当箇所での文言と、選択肢の言葉遣いの言い換えのレベルもさほど難解なものなかった）ので、できるだけミスなく過ごしたい。
- 3 : 「プレッシャー下で平静を保つヒント」に関するポスターに関して、空所補充・下線部語句意味特定の問題が付くかたちであった。2年前からポスターの穴埋めのような問題が出題され始めたが、前期・後期を通じてマイナーチェンジが施され続けている。昨年よりも易化した印象である。

大問構成は昨年通り。合格には70～75%を目指したい。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町FC校 TEL : 03-6272-4175 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>提携校 医学部特訓塾 TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>	